

日本共産党  
京都市会議員団  
市議会報告

市民生活と  
中小業者を  
徹底的に支援



左京区 京都市会議員 Higuchi Hideaki

ひぐち英明

経済活性化…2 暮らし・子育て…4 まちづくり…6 地域要求…8 市会議員団の活動…10

✉ h-hide@myad.jp

# ひぐち英明

Higuchi Hideaki

## Profile

- 1969年 群馬県前橋市に生まれる
- 1988年 群馬県前橋高校卒業
- 1997年 京都工芸繊維大学大学院修了(日本建築史専攻)  
全京都建築労働組合常任書記
- 2003年 京都市会議員(3期)



●ご意見・ご要望は下記までご連絡ください。

**日本共産党京都市会議員団**

2014年3月  
京都市中京区河原町御池 京都市役所内  
TEL. 222-3728 FAX. 211-2130

E-mail. info@cpgkyoto.jp

# 雇用の拡充と中小企業支援こそ 京都経済活性化のカギ

## 住宅リフォーム 助成制度の創設を

住宅リフォーム助成制度は、市民が住宅をリフォームする際に、市内業者に

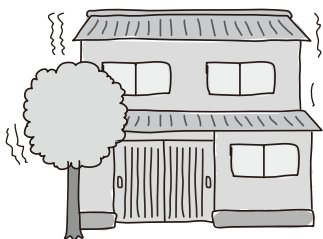


リフォーム助成制度の創設を

発注することを条件に工事代金の5%や10%を自治体が助成する制度。その創設を機会あることに求めてきましたが、2009年6月臨時市会で理事者は、「住宅改修助成制度が」一定の経済効果を持つと認識している」と答弁。京都市がこの制度の経済効果を初めて認めました。制度創設への足がかりとなる答弁です。昨年5月市会の代表質問で改めて、「京都経済の再生と雇用の創出」のため、全国的にも大きな経済効果をあげている「住宅リフォーム助成制度」の創設を求めました。引き続き、助成制度の創設をめざして取り組んでいます。

## 耐震リフォーム 助成制度が実現

一貫して議会で取り上げてきた耐震リフォーム助成制度が、2012年4月から拡充されました。簡単な耐震工事が対象で、60万円を上限に9割が補助されるというものです。その上、地元業者への発注が条件とされましたから、地域経済への貢献にもつながるものです。



## 「消費税増税を容認」とは許せない

この間、市長に対して、「消費税増税の中止を国に対して求めよ」と繰り返し求めてきました。というのも、消費税の増税は、市民生活と京都経済を奈落の底に突き落とすものに他ならないからです。

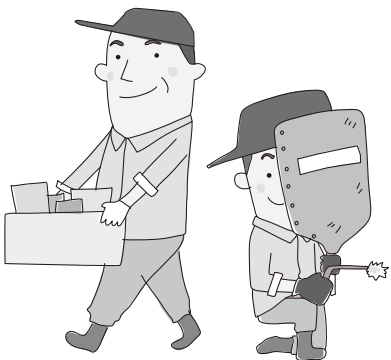
ところが、京都市は「あらゆる世代が負担を分かち合い」「社会保障に要する財源を安定的に確保していくために行われるものである」などと言って、国いいなりで、全く市民の声を聞くようしていません。京都経済の活性化と消費税増税は相容れません。引き続き、多くのみなさんと共同しながら、増税中止に向けて取り組みを強めます。



補助対象となるのは、昭和56年以前に建てられた住宅に限られ、予算も不十分ですが、一歩前進です。住宅の耐震化と地域経済の活性化に向けて、さらに、制度の拡充が図られるよう、働きかけを強めます。

## 公契約条例の 検討が始まる

公契約条例は、公共事業の現場で働く労働者の賃金や下請け中小業者の単価を改善させるものですが、2011年9月



消費税増税撤回求めて三条河原町で宣伝(2013年10月)

# 福祉・教育を次々と切り捨てる 「京プラン」の見直しを

「京プラン（京都市基本計画）」の実施計画（2012年～2015年）は、国の進める構造改革路線の京都市版とも言わべきもので、この計画に沿って、福祉・教育予算が次々と削られています。私は、市民の声を市政に反映せよと、議会で繰り返し迫ってきました。

## 国民健康保険会計は 5年連続で 合計94億円の単年度黒字

国民健康保険会計は5年連続で黒字決算となり、その額は合計で約94億円となっています。

ところが、高い国保料はそのままです。高すぎる国保料を設定したうえで黒字が生じているのですから、これは、保険料の値下げにこそ使わなければなりません。その上、2012年度、国保料を払え

ない世帯の学資保険を17件・647万円も差し押さえています。学資保険は、生活保護の認定の際にも保有を認められている、子どもにとって必要最小限の生活費。子どもの未来を京都市が奪う……。

国民健康保険会計の 単年度黒字額	
2008年度	約13億円
2009年度	約11億円
2010年度	約15億円
2011年度	約27億円
2012年度	約27億円

こんなことは一刻も早くやめさせる必要があります。

## 子育ての願い 一步前進

2012年9月から、小学生の医療費の通院分が、月3000円を超えると後から返還されることになり、昨年9月から、一つの病院なら3000円以上払う必要はなくなりました。市長選挙の運動



子育て中のお母さんたちから要望を聞く

がつくりだした前進ですが、他の市町村では小学校卒業まで無料が当たり前です。京都市でも中学校卒業まで無料化を実現できるように引き続き求めています。

福島原発事故の後、学校給食の放射能検査や安全対策を求める声が市民のみならずから寄せられました。そうした運動と連携し、学校給食の放射能検査と市独自の暫定規制値を実現しました。

## 待機児童対策は、 保育所の定員増で行うべき

昨年4月から始まった新しい保育事業は、整備費や委託料が少ないため、保育環境も保育体制も全く不十分なものとなっています。待機児童対策は、新設・増設など保育所の定員増で行うべきです。

私は昨年5月市会の代表質問で、この問題を取り上げて質疑。現行の昼間里親への委託料増額とともに、新たな保育事業の抜本的な改善と、認可保育所の増設を求めました。市長は「認可保育所の整備をはじめ、様々な手法を活用して待機児童解消へ取り組み」と答弁しました。



## 少人数教育は、 子ども・保護者の 切実な願い



「授業参観の時に先生が目が届くのは前から3列目くらいまでで、後ろの子どもたちが授業に集中できなくても、先生の手が回らない感じ」……。昨年9月市会の決算特別委員会で、あるお母さんからお聞きしたなどを紹介して、少人数学級の拡充が子ども・保護者の切実な願いとなっていることを指摘。国が1年生での35人学級を予算措置した分は、市予算の減額に使うのではなく、少人数学級の拡充にこそあてるべきだと強く迫りました。

# 住み続けられる 左京区の実現めざして奮闘

## 市内高速道路計画をやめさせ、 橋りょうの耐震化へ

わが党のねばり強い議会論戦と世論の広がりの中で、市内高速道路計画を事実上ストップさせました。ムダな大型事業がなくなったことで、老朽化した橋りょうの耐震改修計画がつけられ、2012年から5年間で150億円の予算を確保することができました。大きな進展です。

ところが、ムダ遣いはまだあります。8億円を使つての北泉通りの高野川への架橋計画は、住民からはやめてほしいとの強い要望が出されています。その計画は強引に進める一方で、下鴨地域のみなさんから請願が出された河合橋（出町柳駅西）の拡

幅要望については、「予算が限られており難しい」などと京都市は答えています。まだ改善が必要です。



人・自転車・車が交錯する河合橋

## 地域循環バス路線で 区役所などへの アクセス向上を

「バス停から区役所が遠すぎる」との苦情があいついでいる左京区総合庁舎。2012年2月市会代表質問で、地域循環バスやシャトルバスによる新しい区役所へのアクセスの改善を早急にはかるよう求めましたが、改善が不十分のまま、今日に至っています。

また、久多住民の命と生活を守り、公共交通を確保するために、いきいきセンターの送迎車やスクールバスの活用を検討すべきと求めました。副市長は「区役所が行うまちづくり事業の一環として支

援を検討する」と答弁しています。



区役所アンケートに取り組むみなさん

運動の大きな成果です。

ところが京都市は、今度は岩倉出張所そのものを廃止しようとしています。市民の身近な行政窓口は、充実こそ求められています。予防接種助成制度の改善とともに、出張所の廃止撤回、機能の拡充を求めていきます。

## 岩倉出張所は廃止でなく 機能の充実こそ必要

高齢者のインフルエンザ予防接種の助成制度が2013年に改悪され、料金値上げとともに、区役所での減免申請の手続きが必要となりました。

岩倉のみなさんが改善を求める運動に取り組み、わが党も議会での追及を行う中で、要望事項の一つであった、岩倉出張所での申請手続きが可能となりました。



岩倉のみなさんと一緒に市に申し入れ

## 花脊トンネル計画は 住民の悲願

2012年に左京北部5地区の自治会



2013年台風18号で路肩が崩れた花脊峠

が「花脊峠トンネル化推進委員会」を立ちあげ、地元で署名活動や京都市への要望書提出などの活動をされています。花脊トンネルの計画は何十年も前から地域住民の悲願です。

私は、昨年9月市会で、道路がこれだけ整備されていない所は府内でも他に見当たらないと指摘し、トンネル計画の策定に向けた京都市の努力を強く求めました。理事者は「地域のみなさんの思いは受け止めた」と答弁しました。

## 市原水害対策、台風18号被害

### 市原・頼光橋付近の対策が始まる

市原では豪雨被害がくり返されています。昨年3月、ようやく頼光橋付近に仮設の水路が設置されました。地元のみなさんとともに何度も京都市に改善を求めているものです。5月市会の代表

質問で、下水管工事を念頭に、「根本的な対策が早急に必要」と質しましたが、「今年度早期に雨水管きょ（下水管）の整備工事に着手する」との答弁で、やっと工事が始まることになりました。



豪雨で土砂と木が道路に流れ出した



2013年3月に仮設水路が完成した



2004年以来、繰り返し冠水している頼光橋付近の道路

### 昨年の台風18号被害でも、現場に駆けつけ対策を提案

私は台風当日から被害状況の把握に走り回り、行政に対応を要求。党議員団として市長に対し3次の申し入れを行い、左京区でも区長に対し申し入れ。特に、花脊峠で路肩が崩れ、大型車両規制が行われ京都バスが運休となった問題では、地

元3自治会も行政に申し入れを行い、10日ほどで路肩の仮復旧工事が終わりました。

引き続き、道路の復旧、沢筋の土砂対策、林道・作業道の復旧などを求めています。



花脊・広河原では、道路が崩壊した箇所がたくさん



京都市に対して対策を申し入れ

## 地域要求

# 身近で役立つ市会議員

## 企業献金を受け取らないからこそ生活予算の拡充を提案できます

身近な地域要求を実現するための予算を確保するためにも、「ムダな大型事業や大企業だけを優遇する事業を削り、生活の予算を増やさない」と提案できるのは、企業献金をいっさい受け取らない私たち共産党だけです。

## 地域の身近な要望にもたくさん対応

地域の身近なご要望がたくさん寄せられます。道路に穴が開いている、通学路の交差点が危ない、公園のトイレの電気が切れている、などなど。これらのご要望にも丁寧に応じるとともに、市民の要

望を行政自らしっかりとつかむ体制と、十分な対応ができるだけの予算が確保されていないことを実感しています。この点での改善も議会のたびに求めています。



上高野で道路を横断する排水路を改修して暗渠に



修学院で側溝が崩れ、道路が陥没していた箇所を改修



岩倉の公園のトイレの電気が切れていたものを交換



松ヶ崎の区役所前で車に乗降する際に、歩道の縁石の段差が危険だった箇所を平らに改修

# 市民とともに 市政を動かす

## 14人の日本共産党京都市会議員団

14人の日本共産党京都市会議員団は、市民のみなさんと力をあわせ、市民いじめの悪い政治とキッパリ対決して、市議会でもねばり強い論戦をおこなうとともに、つねに建設的な対案を示し、みなさんの切実な要求や願いを次々に実現させてきました。



### 安倍内閣の暴走にストップを

国民の「知る権利」を奪う秘密保護法の強行成立、消費税増税、社会保障解体、TPP強行、原発推進など、安倍自公政権は、あらゆる分野で暴走を続けています。共産党議員団は、安倍政権の暴走にストップをかける国民的運動の先頭に立つとともに、門川市長に対し「市民のくらしを守る立場から国に対し物を言うべき」と迫ってきました。しかし、市長は国いなりで、消費税増税や社会保障解体も推進の立場です。市長与党も昨年11月市会に56団体から出された「増税中止」の請願を不採択にしました。

秘密保護法は廃止すべき



4月からの消費税増税中止を

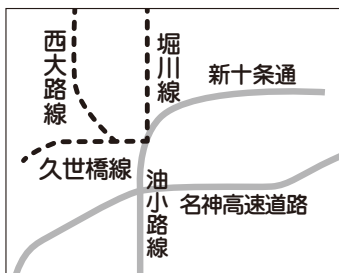


### ムダな大型公共事業をストップさせる

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

### 「高速道路未着工3路線」

共産党議員団は、ムダと環境破壊の市内高速道路建設に当初から反対してきました。残る未着工3路線（堀川線・西大路線・久世橋線）の総事業費は2900億円。計画の中で、「計画の中止を繰り返して求めてきましたが、2012年3月の市議会でも、市長は事実上、「廃止」を表明しました。



未着工3路線

### 市民サービス切り捨て、職員削減の「京プラン」は撤回を

4年間で250億円の福祉・教育予算を含む経常経費を削る「京（みやこ）プラン」実施計画は、国の構造改革路線をそのまま京都に持ち込むもので、くらしを守るためには、「京（みやこ）プラン」の撤回が必要です。

### 市バス・地下鉄運賃、水道料金の値上げ中止を

消費税増税にあわせた市バス・地下鉄運賃の値上げ、上下水道料金の値上げが提案されましたが、これに反対して議会で論戦をおこなったのは日本共産党だけでした。他党派・無所属の議員は、昨年10月からの水道料金値上げも含め、すべての値上げ提案に賛成しました。



### 「市民の宝物」

### 敬老乗車証を守れ

敬老乗車証について、京都市は、乗るた

### 台風18号被害への緊急対策と復旧支援に全力

市内にも大きな被害をもたらした昨年台風18号。共産党議員団として、200カ所をこす被害現場を調査し、緊急の対策と復旧支援などについて、京都市に3次の申し入れを行いました。

引き続き、すべての被災者の復旧支援と一日



台風18号の被害対策について京都市に申し入れ

びに一定のお金を払う「応益負担」の制度に変えようとしており、「敬老乗車証を守れ」の市民のたたかいは大きく広がっています。昨年9月に開催された「敬老乗車証を守るう！市民集会」には170人が参加。今年2月までに、市長に対して8388筆の要望署名が提出されました。



### 焼却灰溶融施設——契約解除

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

### みなさんと力をあわせ、切実な要求を次々に実現

市営住宅の風呂がまは京都市の責任で取り替えに  
 請願の紹介議員になったのは共産党だけ。毎年、市に要望してきました。

### 市バス均一運賃区間が嵯峨・嵐山地域に拡大

10年来の地域住民のねばり強い運動と市議会での論戦が実ったものです。

### 西賀茂北部の柵野に市バス路線が走ることに

西賀茂車庫までの市バス路線延長を求めてきた住民の悲願が実現したものです。

### JR太秦駅、阪急西院駅等でバリアフリー化が前進

2014年度はJR桃山駅、阪急嵐山・松尾大社・上桂駅で基本構想が策定されます。